



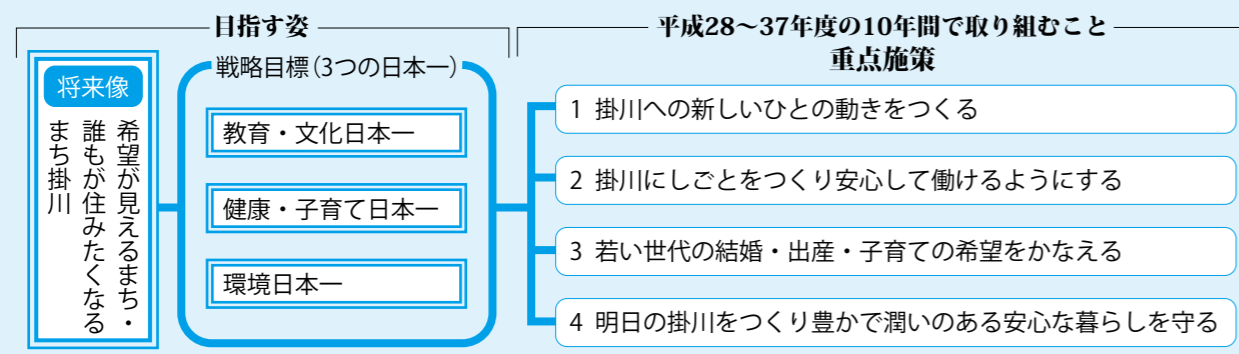
平成29年度施政方針

協働のまちづくり飛躍の年へ

2月定例議会が2月21日から3月22日まで開かれ、松井三郎市長が平成29年度の施政方針を述べました。今回はこの概要を紹介します。※施政方針の全文はホームページからご覧いただけます。

大賀第一地区 まち協まつり

第2次掛川市総合計画 施策体系図



基本理念 「協働のまちづくり」

このような中、総務省が発表した平成28年の人口移動報告において、掛川市は、転入超過が128人で、県内の人口10万人以上の10市の中で1位であり、子育て世代が多く転入してきています。掛川市が持つ豊かな自然環境や、良質な高度な医療環境などの魅力が評価されるとともに、これまでの企業誘致や子育て支援などの取り組みが、成果となって現れ始めていることを実感しています。

「第2次総合計画」では、重点施策として、「掛川への新しいひとの動きをつくる」「掛川にしごとをつくり安心して働けるようにする」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「明日の掛川をつくる」豊かで潤いのある安心な暮らしを守る」の4つを戦略の柱として位置付けました。このうち「掛川への新しいひとの動きをつくる」ためのプロジェクトとして、「掛川流協働力によるシティプロモーション」を掲げ、交流人口の拡大、移

住・定住の促進を目指しています。人口増加の良い流れをさらに加速させるべく、今年度は、新たにシティプロモーション課を設置し、掛川市の魅力を積極的に発信してまいります。

効果的にシティプロモーションを推進するためには、掛川市が持つ地域資源を再発見し、他市にない魅力として磨きあげ、情報発信を行っていくことが重要であると考えています。

また、昨年10月に「平成29年度掛川市行政経営方針」を策定しましたので、これに沿って「しごとづくり」と「子育て支援」を主要課題に、真に必要な施策を戦略的に展開してまいります。

※主要事業は6~7ページで紹介いたします。

終わりに

私は、まちづくりの目指すところは、人々が夢や希望を持てる社会を創り上げることであり、このことが、私たち行政に携わる者の責務だと思っています。人に学び、学ばれ、そして、ともに支え合い、役立

ち合って、充実した人生を送る、それが個人の幸せを実現し、引いてはそれらの個と個が結び付き合って持続可能な社会を創造する。この仕組みこそがまさに「協働のまちづくり」の目指すところです。

二宮尊徳翁の教説である「報徳思想」、さらには、東京女子医科大学を創設した吉岡彌生先生の座右の銘に「至誠」という言葉があります。これは、「誠実であること」の意味に加えて、「人間も動植物も森羅万象、全てのことに、美点、長所、よき、取柄があり、それらを「徳」として、真心を持って接し、お互いに引き出し合うことが大切である」ことを表していると考えられます。

私自身も「至誠」の意味をしっかりと咀嚼し、実践していかなければならないと考えています。真心を持って「協働のまちづくり」をさらに飛躍させ、希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまちづくりに邁進してまいります。

はじめに

平成21年4月、私は「希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち掛川」を行政運営の目標に掲げ、まちづくりの手法の根幹に「協働のまちづくり」を据え、市民・事業者の皆様とともに私の思い描くまちの姿を共有し、まちづくりに邁進してまいりました。

この間、リーマンショックに端を発した世界規模の経済・財政状況の悪化、甚大な被害をもたらした東日本大震災など多くの困難やわが国が初めて直面する少子高齢化・人口減少社会の到来など、大変厳しい状況が今も継続していますが、高い市民力や優れた技術力のある産業の集積などにより、目標に向けた歩みが着実に進んでいると実感しています。

「協働のまちづくり」については、昨年、市内全ての地区で「地区まちづくり協議会」が立ち上がり、さらには、市民活動団体の活発な活動や、事業所内保育所、障がい者特例子会社の

開設といった企業との協働も進んでまいりました。

また、全国初の自治体病院統合による中東遠総合医療センター開院、官民連携の地域包括ケアモデルである5か所の「地域健康医療支援センターふくしあ」と「希望の丘」の開設、さらには、海岸防災林「掛川潮騒の杜」の整備や待機児童ゼロの達成、優良企業の誘致、行財政改革の実行など、いくつもの掛川モデルを創り上げました。全ての分野においてバランスのとれた市政運営に取り組んできた結果、平成22年度以降の市民意識調査において、およそ8割の方が「掛川は住みやすいまち」と評価していたいただいています。

さて、国際情勢に目を向けますと、保護主義や内向き志向が強まり、反グローバリズムが世界を覆う状況となってきたおり、これらの影響が日本におよぶことは必至で、掛川市も例外ではないと思います。

世界は今、歴史の岐路に立たされており、新たなイ

市政運営の基本方針

少子高齢化、人口流出・減少は、地方自治体が早急に取り組まなければならない大変大きな課題です。掛川市は、これらの課題に真正面から向き合うため、昨年4月にスタートした「第2次総合計画」において、「教育・文化」「健康・子育て」「環境」の3つの日本一を戦略目標に掲げ、2040年の将来人口目標を12万人に設定しました。

ノベーション(新しい価値の創造)が求められています。このような状況下において、自治体経営は「行政主導」から「市民主体のまちづくり」への変革を図り、市民・事業者と市が支え合い、役立ち合ってまちづくりを進める「協働のまちづくり」が必要であると確信しています。

これから先、しっかりと根を張り、何があっても揺るがない、万全な掛川市を創り上げるべく、私が先頭に立って取り組んでまいります。

●平成29年度掛川市各種会計予算規模の前年度比較表

会計区分	平成29年度	平成28年度	増減額	前年度比
一般会計	472億9,000万円	468億7,000万円	4億2,000万円	0.9%
国民健康保険	132億9,408万円	129億3,198万円	3億6,210万円	2.8%
後期高齢者医療保険	11億1,924万円	10億7,417万円	4,507万円	4.2%
介護保険	94億2,783万円	92億8,021万円	1億4,762万円	1.6%
公共用地取得	5億9,361万円	5億 492万円	8,869万円	17.6%
特別会計				
掛川駅周辺施設管理	1億 518万円	1億1,289万円	△ 771万円	△ 6.8%
簡易水道	2,415万円	2,735万円	△ 320万円	△ 11.7%
公共下水道事業	26億 386万円	27億2,379万円	△ 1億1,993万円	△ 4.4%
農業集落排水事業	2億5,848万円	2億4,037万円	1,811万円	7.5%
浄化槽市町村設置推進事業	1億8,149万円	3億7,650万円	△ 1億9,501万円	△ 51.8%
上西郷財産区	186万円	186万円	-	0.0%
桜木財産区	6万円	6万円	-	0.0%
東山財産区	252万円	250万円	2万円	0.8%
佐束財産区	933万円	991万円	△ 58万円	△ 5.9%
計	276億2,169万円	272億8,651万円	3億3,518万円	1.2%
企業会計				
水道事業	45億 512万円	43億6,827万円	1億3,685万円	3.1%
合計	794億1,681万円	785億2,478万円	8億9,203万円	1.1%

※△印はマイナスを表します

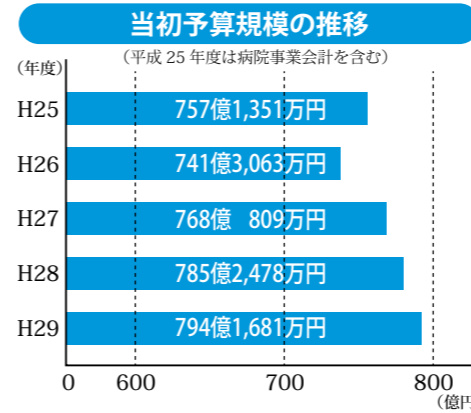
平成29年度
当初予算

問 財政課 (☎21-1197)

魅力創生と協働型シティプロモーションに重点

一般会計 **472億9,000万円**

(前年度比：4億2,000万円増)

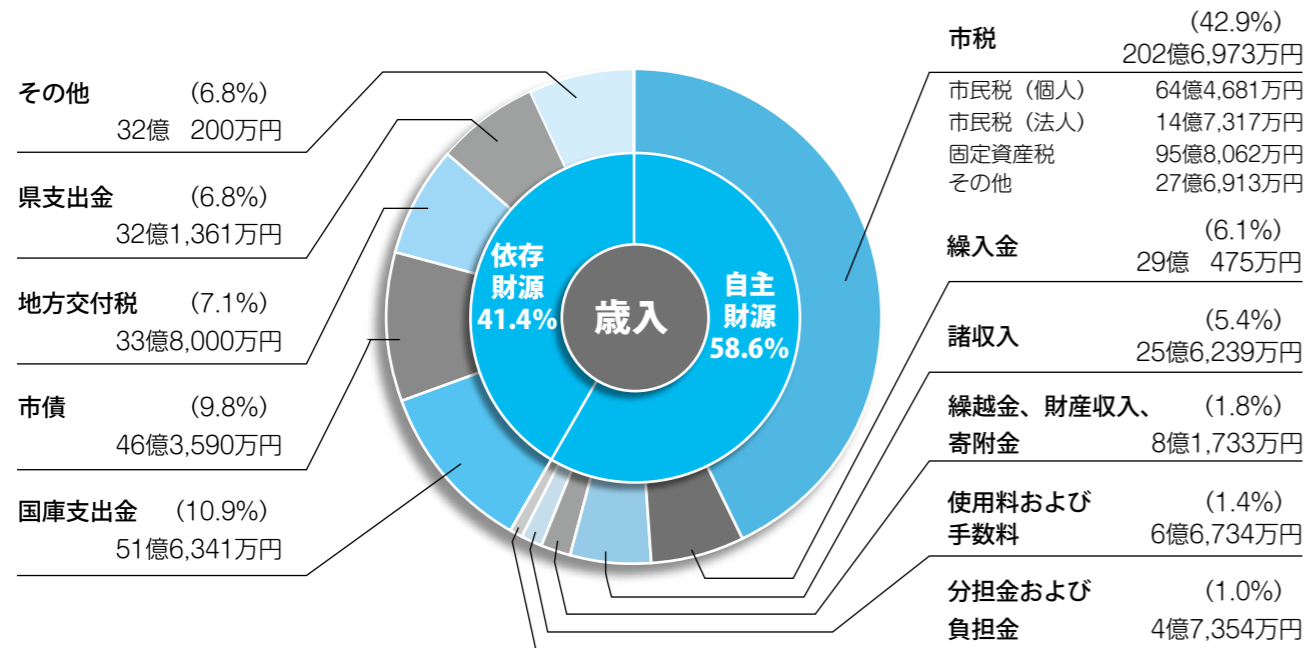


平成29年度当初予算は、「しごとづくり」「子育て支援」など掛川の魅力創生を図る施策をはじめ、その魅力を国内外に情報発信する「シティプロモーション」の推進に重点を置きました。

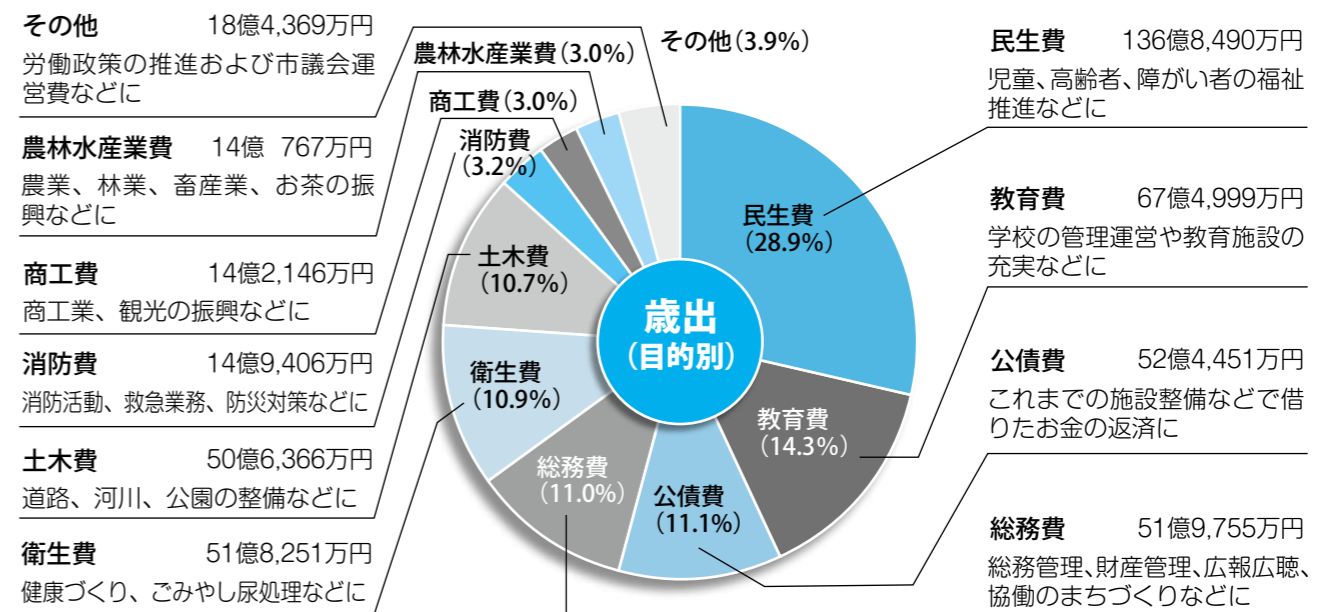
一般会計予算額は、472億9000万円、前年度比0.9%の増です。前年度に比べ増額となった要因は、私立保育園、幼稚園などの運営費の給付や、国民健康保険特別会計への繰出金の増加などです。

特別会計予算額は、13会計で276億2169万円、前年度比1.2%増、企業会計は、1会計で45億512万円、前年度比3.1%増となり、市全体の予算総額は794億1681万円、前年度比1.1%増となりました。

●歳入の状況 (一般会計)



●歳出の状況 (一般会計)



- 依存財源：自主財源に対し、国や県の決定や割り当てに基づいて収入するもの
- 繰入金：財政調整基金をはじめとする基金から繰り入れられる財源
- 分担金・負担金：市が行う、特定の事業の実施により、一定の利益を受ける方にその受益の程度に応じて負担していただく財源（民間保育所保育料など）
- 使用料・手数料：施設などの使用や特定の事務によって利益を受ける方に、その経費の全部または一部を負担いただく財源（道路占用料など）
- 国庫支出金：行政上の目的を果たすために、特定の事業に対して、経費負担割合に基づき国から交付される財源
- 県支出金：特定の事業に対して県から交付される財源
- 地方交付税：地方公共団体間の財源の不均衡を調整するため、国税などを再配分し、国から交付される財源
- 市債：道路や学校などの建設に必要な資金などを、県の同意を得て、国や金融機関から借り入れる財源

- 一般会計：行政運営の基本的な経費を網羅した会計
 - 特別会計：一般会計とは別に、独立した経費管理が行われる国民健康保険、公共下水道事業などの会計
 - 企業会計：地方公営企業法の適用を受け、市が経営する企業活動に係る会計
- 【歳入】
- 自主財源：市がみずから調達することができる収入。市税や保育料、使用料および手数料など

予算用語解説



市イメージキャラクター「茶のみやきんじろう」

平成29年度当初予算 主要事業



大東大須賀認定こども園化ワークショップ



昔の遊び体験



放課後こども教室



かけがわ教育の日



学校給食



産後ケア教室



不法投棄回収



潮騒の杜植樹祭

学びの協働アクションプロジェクト

- 学校教育情報化推進事業 2,664万円
(Pepper導入、タブレットPC配備ほか)
- 中学校区学園化構想推進事業・小中一貫教育研究実践事業 569万円

子どもは地域の宝 地域の子育て力向上プロジェクト

- 子育て世代向け住宅供給事業 202万円
- 子育て協働モデル事業 130万円

家庭の子育て力・教育力向上プロジェクト

- 子育てコンシェルジュ事業 834万円
- 三世帯同居支援事業 2,460万円

結婚・出産・子育て環境整備プロジェクト

- 認定こども園施設整備事業（仮称）大坂認定こども園 6,924万円
- 掛川流子育て応援事業「スキップのすゝめ」 100万円
- かけがわ乳幼児教育未来学会推進事業 155万円
- 学校給食センター建設事業 11億1,362万円

★そのほか

- 未来に向かって平和な社会を築くことを目的に、小中学生の平和学習のための資料を作成します。

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる (21.2億円)

4 明日の掛川をつくり豊かで潤いのある安心な暮らしを守る (57.0億円)

国土強靱化 強くしなやかな明るい未来の国土づくり

- 地震、津波対策アクションプログラム推進事業
- 海岸防災林強化事業・希望の森づくり推進事業 2億4,657万円
- 家庭内安全対策事業（感震ブレーカー設置補助ほか） 3,535万円
- 木造住宅耐震補強工事補助事業【拡充】 1億5,473万円
- 合併推進道路整備事業（掛川高瀬線ほか） 3億1,250万円

スマートコミュニティの実現

- ごみ減量対策事業（生ごみ処理容器普及事業ほか） 827万円
- 合併浄化槽個人設置事業【拡充】 2億194万円

「ふくしあ」でつなぐ 地域の健康づくり

- かけがわ「生涯お達者市民」推進プロジェクト 9,820万円

地域の絆で課題解決 掛川流協働によるまちづくりの深化

- 希望のまちづくり交付金・地域協働環境整備交付金 8,100万円
- 森の力で地域創生事業 1,800万円

★そのほか

- 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、介護予防・日常生活支援総合事業を実施します。

掛川の魅力を売り込め

掛川流協働力によるシティプロモーション

- シティプロモーション推進事業 1,750万円
(事業計画策定、動画による掛川PR活動事業)

市民総ぐるみのおもてなし 観光客誘客促進事業

- 公衆無線LAN (Wi-Fi) 利活用促進事業 245万円
- ふるさと納税推進事業 3億3,745万円
- ラグビーW杯及び東京オリンピック・パラリンピック推進事業 977万円

「茶エンナーレ」から始まる掛川文化の創造

- 茶文化創造千日プロジェクト「かけがわ茶エンナーレ」開催事業 5,000万円
- 松ヶ岡整備事業（松ヶ岡建造物整備委員会、募金活動推進） 1,637万円

中心市街地活性化と多極ネットワーク型コンパクトシティ

- バス交通対策事業 1億9,100万円
(運転免許証自主返納者公共交通助成券配布事業ほか)
- 大池地区商業集積ゾーン化事業（天竜浜名湖鉄道新駅詳細設計ほか） 1,850万円

★そのほか

- 史跡和田岡古墳群の吉岡大塚古墳整備工事を3か年の予定で行い、公園として整備していきます。

1 掛川への新しいひとの動きをつくる (8.9億円)

2 掛川にしごとをつくり安心して働けるようにする(13.4億円)

明日を拓く農 農業ビジネスの推進

- 日本一茶産地推進事業（掛川茶輸出戦略推進事業ほか） 3,321万円
- 世界農業遺産茶草場農法推進活用事業 859万円
- オリーブ産地化推進事業 1,915万円

しごとを生み出すイノベーション支援

- 創業支援事業（創業相談会および創業支援セミナー） 147万円
- 産業戦略支援窓口設置事業 233万円

掛川市の新たな開拓 内陸フロンティアと企業誘致

- 企業誘致対策 5億4,686万円
(企業立地促進事業費補助金・産業立地奨励事業費補助金など)

みんなが働ける掛川創造事業

- 障がい者新規就労500人サポート事業 1,061万円
- 就労継続支援事業 4億円

★そのほか

- 掛川茶のブランド力向上のため、手揉み製法による最高品質の茶の平成30年度皇室献上に向けて、茶園管理をしていきます。
- 伝統的地場産品である手織葛布の振興を図るため、後継者の育成や葛の抗菌作用などを利用した多方面での新たな商品開発などの調査・研究を進めます。



ラグビー教室



盆手前



茶エンナーレセッション



茶草場農法農作業



海外での掛川茶販売促進活動



葛のある暮らし展